

適性検査Ⅰ

注 意

- 1 問題は三ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は五〇分で、終わりは午前九時四〇分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 問題用紙と解答用紙を提出しなさい。
- 5 受験番号と受験者氏名を問題用紙と解答用紙の決められたらんに記入しなさい。

受験番号	受験者氏名

目黒日本大学中学校

次の**文章A**・**文章B**を読んで、あとの**問題**に答えなさい。

文章A

日韓共催のワールドカップで、日本の若者がイングランドのユニフォームを着て応援しました。韓国が勝ち進むと韓国も応援した。それぞれの国からみれば信じられない事態なのです。「人類皆兄弟」という変な風に受け止められますが、人間皆同じという考え方が、日本の場合は基本的にあるのかもしれない。国境がなかったし、民族同士の殺し合いもしていないし、戦場になっていない。

(養老孟司著『バカの壁』による)

文章B

日本人は自分を出さず、他人との距離を保ち、ひかえめにする。だからといって、強い自我をもっていないわけでも、相手との間に感情を激発させたい衝動をもっていないわけでもない。しかし、それを(中略)表現しない。抑制する。そこに日本人としての美意識と、節度ある生活への態度のあらわれがあるように思えてならないのである。

(西尾幹二著『個人主義とは何か』による)

〈言葉の説明〉

日韓共催のワールドカップ……二〇〇二年五月三十一日から六月三十日にかけて日本と韓国で開催された十七回目のサッカーの国別対抗の世界選手権大会。アジアでは初めて開催され、初の二か国共同開催という大会でもあった。日本と韓国の共同開催のため、「日韓ワールドカップ」という呼び方もある。

問題

【文章A】は、「日本人の特性」・【文章B】は、「個人の在り方」について述べられた文章です。

解答らん①には文章Aから読み取れることを「日本人は」という書き出しで、百字以内で分かりやすく書きましよう。解答らん②には、文章Bについて筆者の言いたいことを、具体的な例を挙げて「日本人とは」という書き出しで百四十字以内で分かりやすく書きましよう。それぞれの解答らんには、あらかじめ書き出しの語句が印刷されています。

また、この二つの文章を読んで、あなたは「他者との関わり」において何が重要だと考えますか。解答らん③に、あなたの考えを、自分の体験や経験などを交えながら、四百字以上、五百字以内で分かりやすく書きましよう。

〈書き方のきまり〉

- 題名、名前は書かずに一行目から書き始めましよう。
- 書き出しや、段落だんらくを変えるときは、一ます空けて書きましよう。ただし、解答らん①・②については、一ます目から書き始めましよう。
- 行を変えるのは段落を変えるときだけとします。会話などを入れる場合は、行を変えてはいけません。
- 読点とくてん↓、句点↓。かぎ↓「などはそれぞれ一ますに書きましよう。ただし、句点とかぎ↓。」は、同じますに書きましよう。
- 読点や句点が行の一番上にきてしまうときは、前の行の一番最後の字といっしよに同じますに書きましよう。
- 書き出しや、段落を変えて空いたますも字数として数えます。

- 最後の段落の残りのますは、字数として数えません。
- 解答を直すときは、消しゴムで丁寧ていねいに消してから書き直しましょう。

以下余白

